

## 教えてネ 地域のお話

### じっくり手間をかけ 県産大豆でみそ作り

**地**

元産品を活用した加工品作りに関心を持ってもらおうと、2月24日、園芸振興センター加工研修室で、県産大豆を使ったみそ作りの講習会が開催されました。

農事組合法人河辺農産加工組合の石塚茂樹さんを講師に迎え、今回学んだのは、ゆっくり時間をかけて発酵させる天然醸造という方法。参加したみなさんは、オリジナルのみそが上手にできるように、作業の手を休めずに積極的に質問しながら、講師の丁寧な説明に真剣に耳を傾けていました。



講師の石塚さんが手にした大豆は県産でもさらに厳選したものです



おいしくな～れ、おいしくな～れ



容器につめて、あとはお家で上手にねかせるだけです

県産大豆はより旨味が出ることので、そのポテンシャルを引き出そうと、みなさん米こうじと混ぜ合わせる工程は特に力が入った様子。十分なじむよう、自分の納得がいくまで、ポウルに入れたふかした大豆を手ひらでグイグイと押しつぶしていました。

この日作ったみそは1人約1・5キロで、この量だとひと夏超える頃に完成するそうですが、それまでにさらにこまめに、保管場所の湿度や温度などにも気を配ることが大切なポイント。じっくりと手間がかかる分、できあがりも楽しみですね。みなさんの手作りみそが、半年後、おいしくなりますように！

### 気持ちも和む♪ 手作りのつるし飾り

**ふ**

んわりやさしい、色とりどりの古い着物の端切れで作られた人形や花びらなどがズラリ！これは、上新城の農山村地域活性化センターさとびあで開催されていた「つるし飾り」の展示会の様子です。

たくさんのかわいらしい飾りを手作りで仕上げたのは、地元の「ゆりの会」のみなさん。6年



彩り豊か！ カラー写真じゃないのが残念です



ゆりの会のみなさん。会員は現在10人です

前からはじめたつるし飾りの制作が、いまでは農閑期の楽しみのひとつになっているのだとか。代表の三浦エツ子さんは、「会員同士、教え合いながら一つ一つ丁寧に作りました。今後機会があれば、こうして展示会などを開いて、たくさんのかたにみていただきたいですね」とニコリ。赤やピンクのにぎやかな雰囲気、春の訪れが一段と待ち遠しい気持ちになりました♪